

第 20 回 保護者・教職員のための勉強会

アンケート集計(回収 101 枚)

上宮高校	63		夕陽丘中学	4
上宮中学	14		天王寺中学	3
上宮太子高校	6		上町中学	3
上宮太子中学	2		高津中学	2
			その他	4

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
講演の内容 について	5	4	3	2	1
	22	43	24	9	3
内容はわかりや すかったですか	5	4	3	2	1
	36	30	24	9	2
参加して	5	4	3	2	1
	29	37	21	11	3

《講演内容について》

- ・子どもとの関係について考える機会を与えていただきました。
- ・家族のどこに境界線を引けばよいのかよくわかりました。
何かとてもすっきりしました。
- ・子供との関係を親も変化していくべきと再確認できた気がする。
- ・子供も自分もゆれている年代とお聞きして少し安心しました。
- ・「誰かが気づいて問題を止めれたらいい」「伝統的な問題もある」
「自立するために急に親に近づく事もある」など知らなかった。
- ・中 1 の次男が不登校で悩んでいます。原因を探すよりこれから
どうするかを考える事について気づきを得ました。
- ・子供の考え方感じ方の移り変わり、その伴って親の対処の仕方
引き際、尊重の仕方など今直面している話が聞きたかった。
- ・プレゼンのことばが学術的で大学の講義を聴いているようだった。
- ・子供との接し方など具体的に聞きたかったです。
- ・思春期の子供に対しての NG ワードや対処方法などの具体的な

話を期待していた。

《高橋先生にご質問や伝えたい事》

- ・「原因を探してもそれは過去に生きるだけ、これから何ができるかと未来を考えていこう」「問題発生は問題解決のスタートだ」にすごく励まされました。
- ・子供が甘えてくるときは自立する準備だったことを知り、嬉しく思いました。
- ・うちも半父親不在なので、子供との関係や夫婦の関係を見直すきっかけになりました。

《質問その回答》

- 主人がイライラや疲れがたまっているとき、下の子をすごく叱りつけるとき、どうしたらいいですか？
 - ☞ どうしたらよいか、と方法を探されるよりも、それを何とかしたいと思われているご自身のお気持ちの方がご家族の関係にとって大きな助けになるのではないかと思います。ご主人が落ち着いておられる時に、ご主人がご自分のストレスからお子さんを叱りつけられるように見えていることを母親として、また、妻としてどのように思っておられるかを伝えてみられてはいかがでしょうか。そのお話を通して、子どもが理不尽な叱責を受けることになっていると気付かれるようであれば、ご主人の行動は変わると思います。また、ご主人が「すごく叱りつける」理由がわかれば、対処法を考えていけるのではないのでしょうか。ぜひ、お話をなさる機会をもって下さい。
- 子どもの生活のリズムの組み立て(いつ遊び、いつ勉強し、何時頃寝て、など)をいつから子どもに委ねていくのですか？
 - ☞ いつ、あるいはどれから委ねていくかという問題に正解はないと思います。お子さんがご自分で生活リズムを管理したいと言い出された時点が理想的なスタートだと思いますが、お家の方がそのうちのいくつかを自分でしてみないか、と促されることが必要な場合もあります。いずれにしても、生活習慣を定着させるまでには試行錯誤の時期があることをふまえて、時に励まし、時に注意を促しながら見守っていただければ、と思います。
- 3世代同居を勧められてとのことですが、祖父母との関わり方次第で家族の在り方が変わっていくのでしょうか？それは祖父母の考え方が重要なのでしょうか？
 - ☞ 私が勧めている訳ではなく、3世代同居によるメリットを指摘し、同居を勧めている人たちがいるという最近の新聞記事をご紹介します。

ご質問の通り、祖父母との関わり方で家族の在り方は変化します。ただし、祖父母の考え方だけが重要なのではなく、関係は相互の働きかけで作られていますから、同居する家族全員がお互いにどのような距離感で生活するかを考える必要があると思います。その距離感やイメージが一致していれば、快適で充実した生活が送れると思います。

家族にとって家族メンバー間の世代間境界が大切であることはお話ししましたが、異世代同居は、親しさという距離の近さと境界という仕切りを両立させていくこととなります。その距離感は、それぞれのお家の伝統や文化によって決まっていく面があると思います。いずれにしても、家族の歴史やつながりの特徴に改めて気づくチャンスになることは間違いないでしょう。